

# 1347号に関し規準図

## 推奨基礎作成へ

### 日本住宅基礎鉄筋工業会



総会で挨拶する森山副理事長

を受けてのものだ。

住宅基礎の設計は、あくまで最低仕様を規定し

応えるため、年内た告示第1347号の単  
をメドに国土交通 純運用では十分ではな  
省告示第1347 なく、設計側に現場に即し  
号に関し規準図を た高度な専門知識が求め  
作成する。これと られる。このため工業会  
平行して研修会を として、建物の荷重や地  
活発化、会員会社 盤の状態に適合した推奨  
の技術レベル向上 基礎のマニュアルを作  
を図る意向だ。 り、施工サイドの設計負  
規準図作成への 担軽減を図る。

日本住宅基礎鉄筋工業 取り組みは、耐震強度偽  
会(山口龍二理事長)は、 装問題への対策として行  
住宅の基礎について、同 われた一連の法改正の影  
工業会としての推奨基礎 響を反映し、昨年から、  
マニュアルの作成作業を 大手ハウスメーカーが基  
始める。住宅業界で進ん 礎や地盤についての認識  
でいる品質向上の動きに を新たに高めていること  
同工業会は住宅基礎用 溶接鉄筋の品質向上を目  
的に2006年に設立さ  
れた団体。21日開催の定  
時総会で、今期の活動方  
針を明らかにした。